

(様式1)

環 境 配 慮 検 討 書

農商第 13 - 74 号
平成23年 8月 24日

三重県環境調整システム推進会議 部会長 様

三重県 農水商工部 農業基盤室長

三重県環境調整システム推進要綱第4条の規定に基づき提出します。

対象事業の名称		高度水利機能確保基盤整備事業 稲生地区		
連絡先	担当室又は課所名	農業基盤室 農業基盤グループ		
	担当者職・氏名	主査 三浪 正人	電話番号	PHS 6259

1 事業の計画の名称、目的及び内容

(1)名称	高度水利機能確保基盤整備事業 稲生地区	
(2)目的	経営体育成基盤整備事業の実施により、大型機械の導入が可能な区画形状・道水路を整備して、近代的農業の推進と労力の節減を図るとともに各農家の農地の集団化等を推進し、また、高齢化社会を迎え、後継者不足による農地の荒廃化を防ぐため農業生産法人による農作業受託等農地の利用集積を図り、将来に向けての安定的な地域農業の確立を目指す。	
(3)事業主体	三重県	
(4)計画内容	①計画地の位置	三重県鈴鹿市稲生町地内 受益面積 A=51.4ha (別図1計画一般図参照)
	②建物・施設等の概要 (用途、規模、面積、配置等)	整地工 A=51.4ha 道路工 L=5.9km 有効幅員3.0m～4.0m 砂利及びアスファルト舗装 用水路工 L=5.8km 管水路 (VUφ100mm～φ450mm) 排水路工 L=4.0km 有孔フリューム400-600型 プレハブ水路 600×800-900×1,300
	③用水の使用計画	主水源は、2つのため池(山田下池・大谷池)、稲生新川及び大谷池横の地下水から取水をしている。 地区内は管水路とする。
	④エネルギーの使用計画	使用計画なし。
	⑤雨水、汚水の排水計画	雨水:地区内の計画排後ろを経由し、稲生新川へ自然排水を行う。 汚水:汚水の発生なし。
	⑥道路・交通計画	計画地区は、認定市道に隣接している。
	⑦工期	ア)着工の予定時期 イ)完工及び供用開始の予定時期
(5)関連事業計画	関連事業なし。	
(6)その他	その他なし。	

2 計画地の社会的条件の現況等

(1) 計画地の社会的条件の現況	①交通の現況	計画地区周辺の主要道路として東側に県道上野鈴鹿線が通り、西側に国道23号線(中勢バイパス)が通っている。また伊勢鉄道も地区内の一部を通っている。
	②土地利用の現況	計画地区の現状土地利用は、水田・畑の農地である。 (別図2現況計画平面図参照)
	③水域利用の現況	計画地区は、2つのため池(山田下池・大谷池)、稲生新川および大谷池横の地下水を用水源として展開する農地で、改修を予定している水路は、開水路で不効率な水利用を行っている。 (別図2現況計画平面図、別図3計画平面図参照)
	④生活関連施設の現況	計画地区周辺の上水道は、完備されている。 ゴミについては、鈴鹿市のゴミ焼却施設にて焼却している。 計画地区周辺には稲生小学校がある。
(2) 関係法令等による地域の指定・規制状況	①自然環境保全地域等の指定状況	自然環境保全地域(地区)、自然公園地域(区域)、鳥獣保護区の指定状況 地区周辺には、自然環境保全地域及び自然公園地域に指定された地域はない。また、鳥獣保護区の指定された地域もない。
	②土地利用規制の現況	都市計画法、農業地域振興法、森林法の規制制限 計画地区は、都市計画法及び森林法の指定された地域はないが、農業振興地域の農用地区域に指定されている。また一部農用地区域に編入する箇所がある。 (別図4農振土地利用図 別図5農用地への編入箇所図参照)

3 計画地の自然的条件の現況

(1) 地形・地質	文献調査	文献名	土地分類図(三重県)(S50国土庁土地局)	
	現地調査の有無	有・無	(実施日時)	聴取調査の有無
	調査結果等	地形:標高5.6m~11.7mの平坦農地 地質は、未固結水城岩の礫層を主とした粘性土である。		
(2) 水象	文献調査	文献名	平成21年度環境白書	
	現地調査の有無	有・無	(実施日時)	聴取調査の有無
	調査結果等 ①河川、湖沼	計画地区近隣の地点での水質調査は、下記の通りである。 鈴鹿川(下流)BOD:0.8 中の川BOD:3.4		
	②海域	四日市鈴鹿地先(甲)COD:2.6		
(3) 気象・大気質等	調査の方法	「平成21年度三重県環境白書」 津気象台(昭和42年~平成21年)		
	調査結果	気温:平均気温 15.6℃ 降水量:年降水量 1,623mm 最多風向:東南東 風速: 34.1m/s 大気質:近隣地点での調査結果は以下のとおりである。 二酸化硫黄0.004ppm(年平均)、二酸化窒素0.025ppm(年平均) 浮遊粒子状物質0.023ppm(年平均) 一酸化窒素0.037ppm(年平均)、窒素酸化物0.063ppm(年平均) 光化学オキシダント0.053ppm(昼間の日最高1時間の平均) メタン1.88ppmC(年平均)、全炭化水素2.06ppmC(年平均) ダイオキシシン類0.013pg-TEQ/m ³ 水質:水象①河川、湖沼を参照 騒音: 53LAeq(dB)(等値騒音レベル(昼))、42LAeq(dB)(等値騒音レベル(夜)) 振動: 35dB(振動レベル(昼))、30dB(振動レベル(夜))		
(4) 生態系等	文献調査	文献名	「三重県レッドデータブック2005」 「鈴鹿市田園環境マスタープラン」	
	現地調査の有無	有・無	(実施日時 H22.5.31) (実施日時 H22.6.21)	聴取調査の有無
	調査結果等 ①植物	植生の概要:計画地区は自然植生の面影を残す植生はほとんど見られない。 また、地区の北側には市街地が広がり、その田は、水田が広がっている。 貴重な植物個体:計画地区に貴重な植物個体の記載が見られない。 貴重な植物群落:計画地区に貴重な植物群落の記載が見られない。		
②動物	動物相の概要:計画地区では種々の動物等が確認された。 貴重な動物:計画地区内には、1種類(魚類)の貴重な動物が見受けられる。 (別紙 環境配慮調査参照)			

(5) 自然景観・文化財等	文献調査	文献名	文化財・埋設障害物位置図(別紙文化財・埋設障害物位置図参照)	
	現地調査の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	(実施日時 H21.7.29)	聴取調査の有無 <input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無
	調査結果等 ①自然景観	<p>自然景観の概要: 稲生新川沿いの平野部の田園地帯である。</p> <p>貴重な自然環境: 計画地区は、自然植生の面影を残す植生等はほとんど見られない。 また、地区の北側には市街地が広がり、その田は、水田が広がっている。</p>		
	②文化財、史跡、名勝等	<p>史跡、名勝、天然記念物: 計画地区に指定されているものはない。</p> <p>埋蔵文化財包蔵地: 特になし。</p>		
	③屋外レクリエーション 他	計画地区周辺に立地していない。		
(8) その他、自然災害等		特記事項なし。		

4 事業計画の検討内容(複数比較案が実施できない場合)

複数案比較が実施できない理由	経営体育成基盤整備事業は、ほ場整備事業を実施し優良農地を確保し、農業経営の安定化と地域農業の活性化を推進する事を目的としており、この事業以外にない。
----------------	--

※環境配慮事項ごとに、環境配慮度を◎○ーで記入し、その配慮の内容及び配慮度の評価の理由を記入すること。

環境配慮技術指針の配慮目標 ①循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築 ②人と自然が共にある環境の保全 ③やすらぎと潤いのある快適な環境の創造	環境配慮度 ◎: 十分配慮している。 ○: 配慮している。 -: 特に配慮する必要がない。
---	---

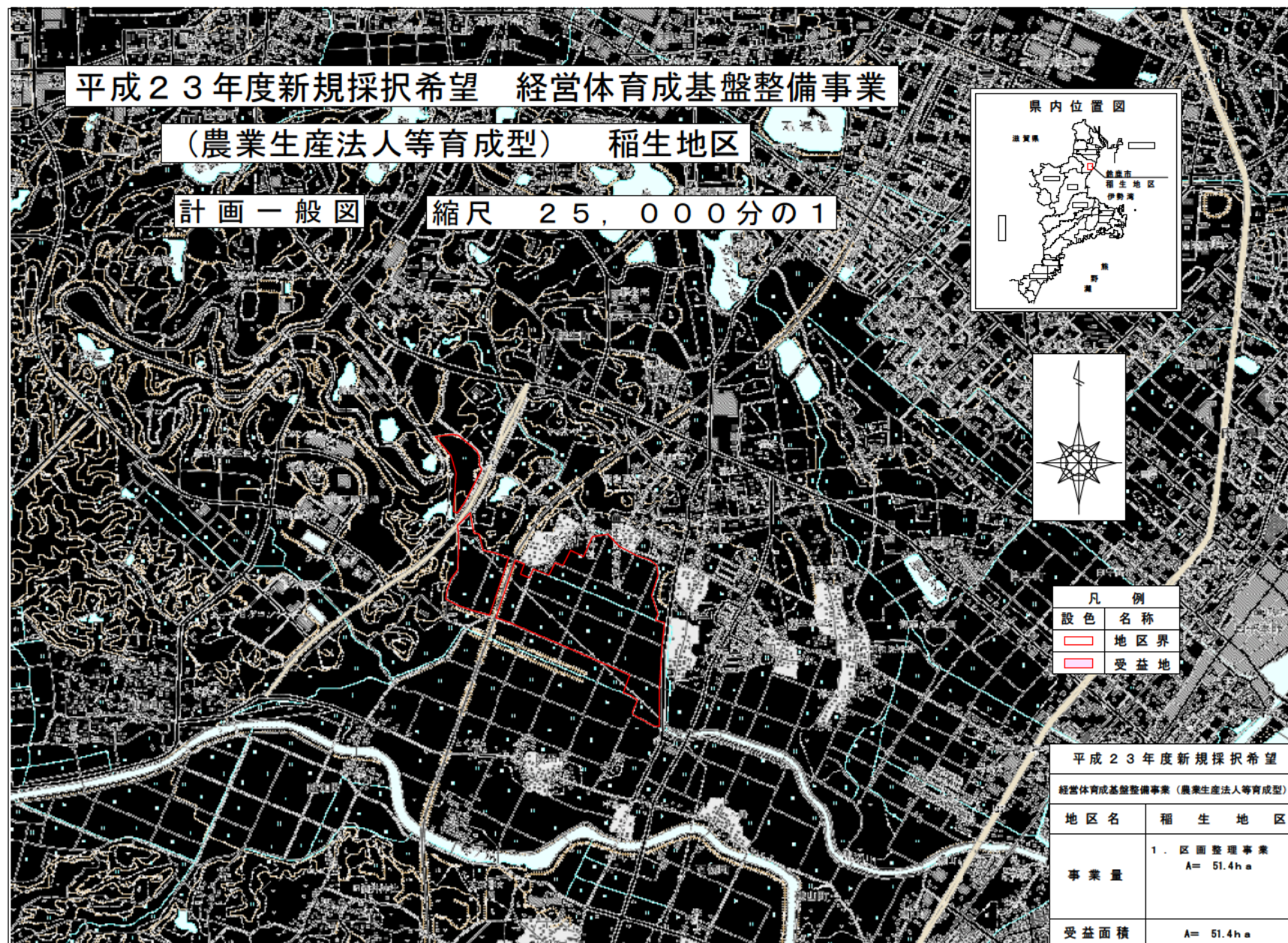
技術指針に基づく環境配慮事項	環境配慮度	環境配慮の内容 (-の場合は、無記入でも可)	配慮度の評価の理由
①-1 地球温暖化防止	○	工事に際して、排出ガス対策型建設機械を使用する。	排出ガス対策
①-2 廃棄物対策	○	工事による発生廃材は、再資源化が可能なものは資源化処理施設に搬入し、最終処分が必要なものについては、適正に処理する。	リサイクル対策
①-3 生活環境の保全	○	工事に際して、低騒音、低振動型機械の使用に努める。また、土工計画や排水施設計画において工事時期や濁水対策等の検討を行う。	周辺環境対策
①-4 その他重点事項		該当事項なし	
②-1 野生生物等の生育空間の確保	○	騒音、振動の低減により生育空間の確保に努める。下流域への土砂流出を防止し、濁水対策を講じる。	野生生物への影響を極力抑える。
②-2 希少な野生生物の保護	◎	工事に際して、希少な植物が確認された場合、移植等の保護を行う。 野生生物保護のため、排水路には魚巢ブロックやスロープパネルを設置する予定である。	希少生物保護対策
②-3 地形、地質等の改変の抑止	○	土量のバランスをとり、地区外に搬出しないよう配慮する。	地区外への土砂流出を抑える。
②-4 その他重点事項		該当事項なし	
③-1 緑化、周辺景観との調和		該当事項なし	
③-2 親水等、ふれあい空間づくり		該当事項なし	
③-3 その他重点事項		該当事項なし	
④ 上記以外の特記事項		該当事項なし	

5 事業計画案の環境配慮に係る評価

従来の事業等と比較して優れている点	小動物の保護のために排水路へスロープの設置を行うなど、事業内容に環境配慮を取り入れた。
今後の課題	下流の河川にはメダカなどが生息することから、周辺環境に負荷の少ない工事を心がける。
会議での調整を要する事柄	特になし。

別 添 資 料

別図 1 計画一般図



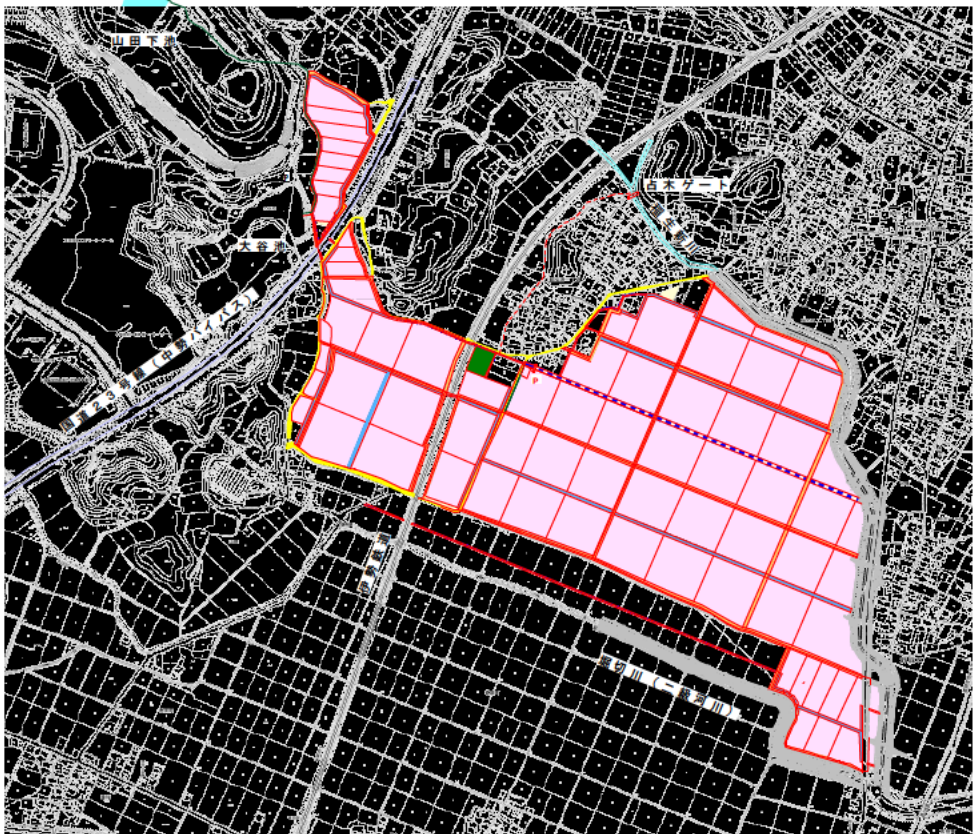
平成23年度 新規採択希望 経営体育成基盤整備事業(農業生産法人等育成型) 計画概要書

県名	三重	地区名		いのう		所在地		三重県 鈴鹿市稲生町他		工種区分		工事内容		工事費(百万円)	10a当り(千円)	割合(%)
		稲生		水系名		鈴鹿川水系 堀切川(二級河川)		生産画		整理		整地	面積 51.4 ha 表土面積 10.0 ha	180	350	19
受益面積	ha	区画整理	暗排水	客土	農業用排水	農道	合計	法人育成促進計画	農用地面積(ha)	育成農業生産法人等数	同左経営面積(ha)	同左シェア(%)				
		51	-	-	-	-	51	現況	54.2	-	-	-	-	-	-	-
地域指定等	農業地域類型		農振		過疎	-年-月指定		育成農業生産法人等数の内訳								
	都市的地域		指定	S 46年 11月	野菜	S 41年 8月指定	農業生産法人		1							
項目	地区面積		事業別面積		農振白地		取込計画		面積							
	現況	区画整理	同左外	計	区画整理	暗排水	客土	農業用排水	農道	計						
種目	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha						
	水田	54.1	51.3	-	51.3	51.3	-	-	-	-						0.1
係	樹園地	-	-	-	-	-	-	-	-	-						-
	畑	0.1	0.1	-	0.1	0.1	-	-	-	-						-
小計	54.2	51.4	-	51.4	51.4	-	-	-	-	-						0.1
	道水路	5.8	8.4	-	8.4	-	-	-	-	-						-
非農用地	-	0.2	-	0.2	-	-	-	-	-	-						-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-						-
合計	60.0	60.0	-	60.0	51.4	-	-	-	-	-						-
現用	地形		掘切川左岸に展開する主傾斜1/900程度の水田地域		勾配(主傾斜)		土壌		湿田							
	減水深(平均)		1/70~1/2900 (1/900)		E42		-		ha							
水	代播期	120 (120) mm/day	0.160 m³/s	15 %	4月27日~5月6日	10日										
	普通期	11~16 (14) mm/day	0.105 m³/s	15 %	5月7日~8月4日	90日										
用排水施設	用水	U字溝		排水	U字溝及び圃渠											
用水	排水	用排水路を兼用しており、用水路としては敷高が低く不効率なかんがいとなっている。		不足率	普通期	- %										
	排水	排水路としては敷高が高く、乾田化ができず農地の汎用化が図れない状況である。		湛水面積	湛水深	湛水時間										
農地整備	整備済	ha (-)		標準区画	a (- m x - m)		暗渠	ha								
	営農	基幹作物	水稻+小麦		機械利用体系	小型機械化体系		経営規模	0.52 ha/戸・経営体							
区画の	圃区	耕区		30a以上の割合	50a以上の割合	1ha以上の割合	ただし書適用面積									
	100 x 300 m	100 x 30~100 m		47.9 ha (94 %)	42.2 ha (82 %)	34.35 ha (67 %)	- ha									
用	減水深(平均)	粗用水量		水路口ス	期		日数									
	代播期	120 (120) mm/day	0.145 m³/s	10 %	4月27日~5月6日	10日										
水	普通期	11~16 (14) mm/day	0.095 m³/s	10 %	5月7日~8月4日	90日										
	排水	区画整理に伴う用水路網の整備(パイプライン化)		末端パイプライン区域面積	51.4 ha											
基準	雨量	194(1/10)~118(1/2)	排水量	自然	2.75~4.96 m³/s/km²		地下水位	0.6~0.8 m								
	排水	区画整理に伴う排水路網の整備(乾田化)														
暗渠	面積	ha (-)		埋設深	m (-)		間隔	m (-)								
	客土	面積	ha		客土理由	-		客土量	km³		客土深	cm				
営農	基幹作物	水稻+小麦+大豆		機械利用体系	大型機械化体系		経営規模	0.82 ha/戸・経営体								
	環境との調和への配慮	創造・配慮の区分	配慮	配慮内容	各排水路に小動物脱出用のスロープ等を設置し小動物の保護を図る。各排水路に魚巢ブロックを設置し豊かな生育環境を保護する。											
生産画	整理	暗渠排水工		本暗渠		- ha		湧水暗渠		- ha						
	客土工	面積		- ha		客土深		- cm								
備	農業用排水工	本暗渠		- ha		湧水暗渠		- ha								
	農道工	面積		- ha		客土深		- cm								
測	試験	A=		51.4 ha								131	255	14		
	計	A=		51.4 ha								938	1,825	100		
費	生産基盤付帯整備															
	生活環境基盤整備															
特認事業	経営高度化支援															
	合計	A=		51.4 ha								938	1,825	100		
換地計画	平均戸当り団地数	3		1団地平均面積	10~15 a		集団化率	-		換地区数	換地方法					
	現況	3		10~15 a	-		74 %	全換地区		標準地比準方式		増加額比例地積清算方式				
効	区分	年総効果額		年総増加所得額		10a当り		主要効果指標		年増加農業所得額		66,012千円				
	作物生産効果	5,050千円(5,952千円)		10千円		水稻		509 kg/10a		519 kg/10a		評価期間		46年		
用	営農経費節減効果	57,653千円(57,653千円)		114千円		水稻(機械)		22時/10a		5時/10a		総費用(現在価値)		1,234,639千円		
	維持管理費節減効果	1,611千円(1,611千円)		3千円								総費用総便益比		1.32		
その他効果	千円(千円)	千円										増加所得償還率		0.17		
	796千円(796千円)	千円										10a当農家年償還額		21,833円		
合計	65,110千円(66,012千円)		千円										(21,833円)			
関連事業	事業名	工期		受益面積		総事業費		進捗率		本事業との関連						
	公告年月日	(平成22年12月予定日)		(ha)		(百万円)		(%)								
法	申請年月日	(平成23年1月予定日)		申請事業費		984.9百万円(46.9百万円)										
	同意率	(仮)105/105		100 %		2/3同意の得られない大字		有		(無)						
アロケード	共同事業者	-		事業内容		-		方法及び負担率		-						
	関係士地改良区名称	(仮称)稲生土地改良区		設立年月日		平成23年4月設立予定		組合員数		105人						
工事の着手及び完了の予定時期	着手	平成23年		備考		旧事業名:										
	完了	平成28年														

計 画 概 要 図

経営体育成基盤整備事業（農業生産法人等育成型） 稲生地区

計 画 平 面 図

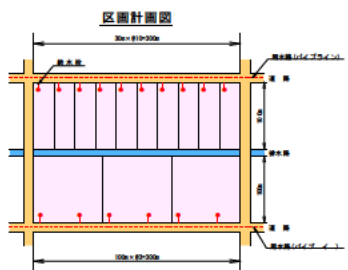


凡 例	
設 色	名 称
■ (Pink)	水 田
■ (Yellow)	畑
■ (Green)	非 農 用 地
■ (Orange)	農 道
■ (Yellow)	既 設 道 路 (市 道)
■ (Blue)	排 水 路
■ (Blue/White)	既 設 排 水 路
■ (Red)	用 水 路 (パイプライン)
■ (Green)	用 水 路 (導 水 管)

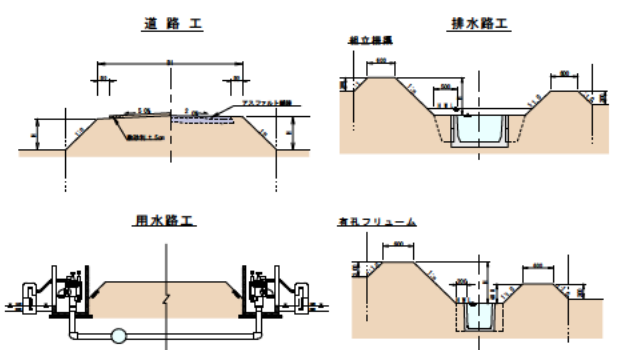
位置図



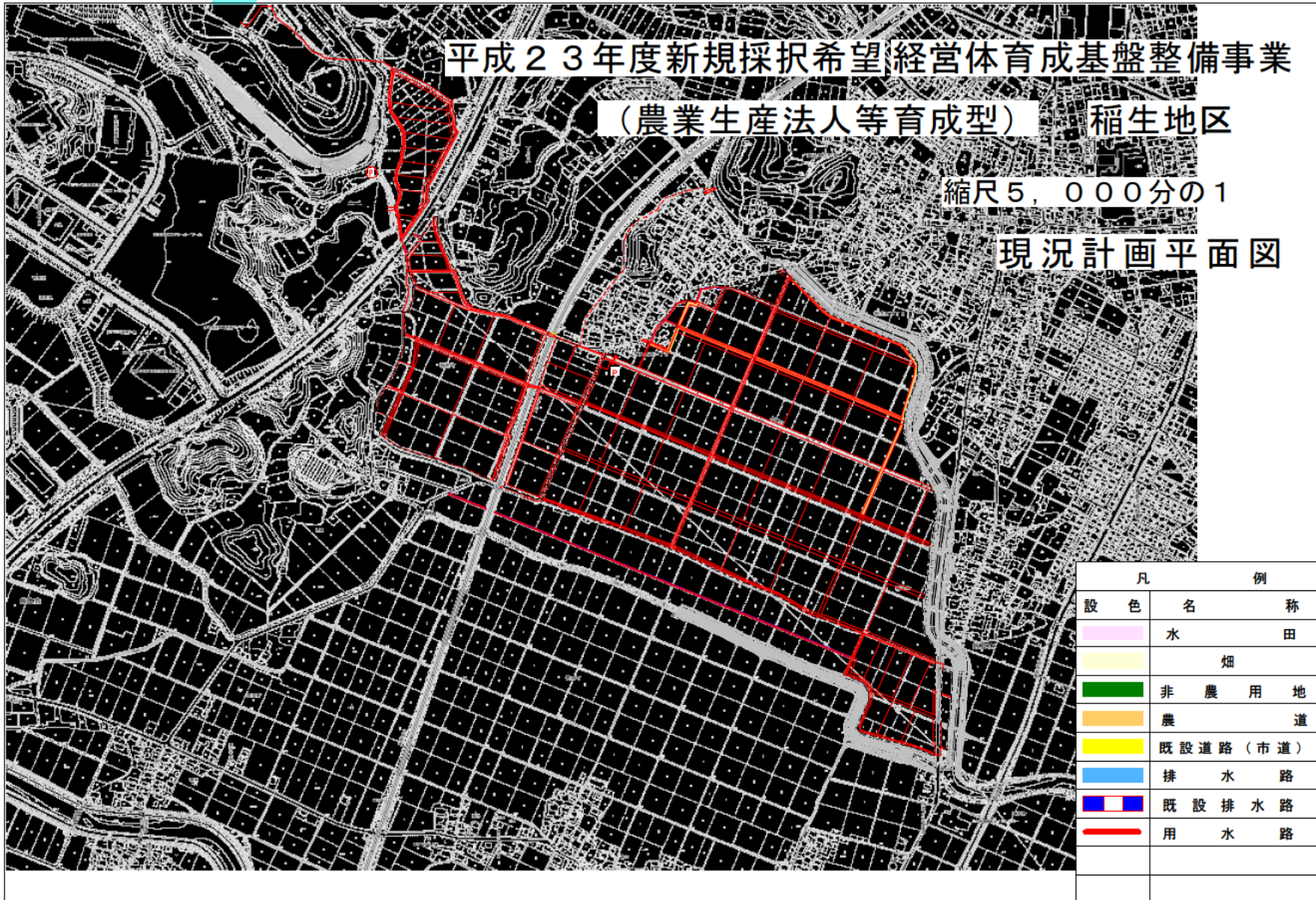
標準区画割図



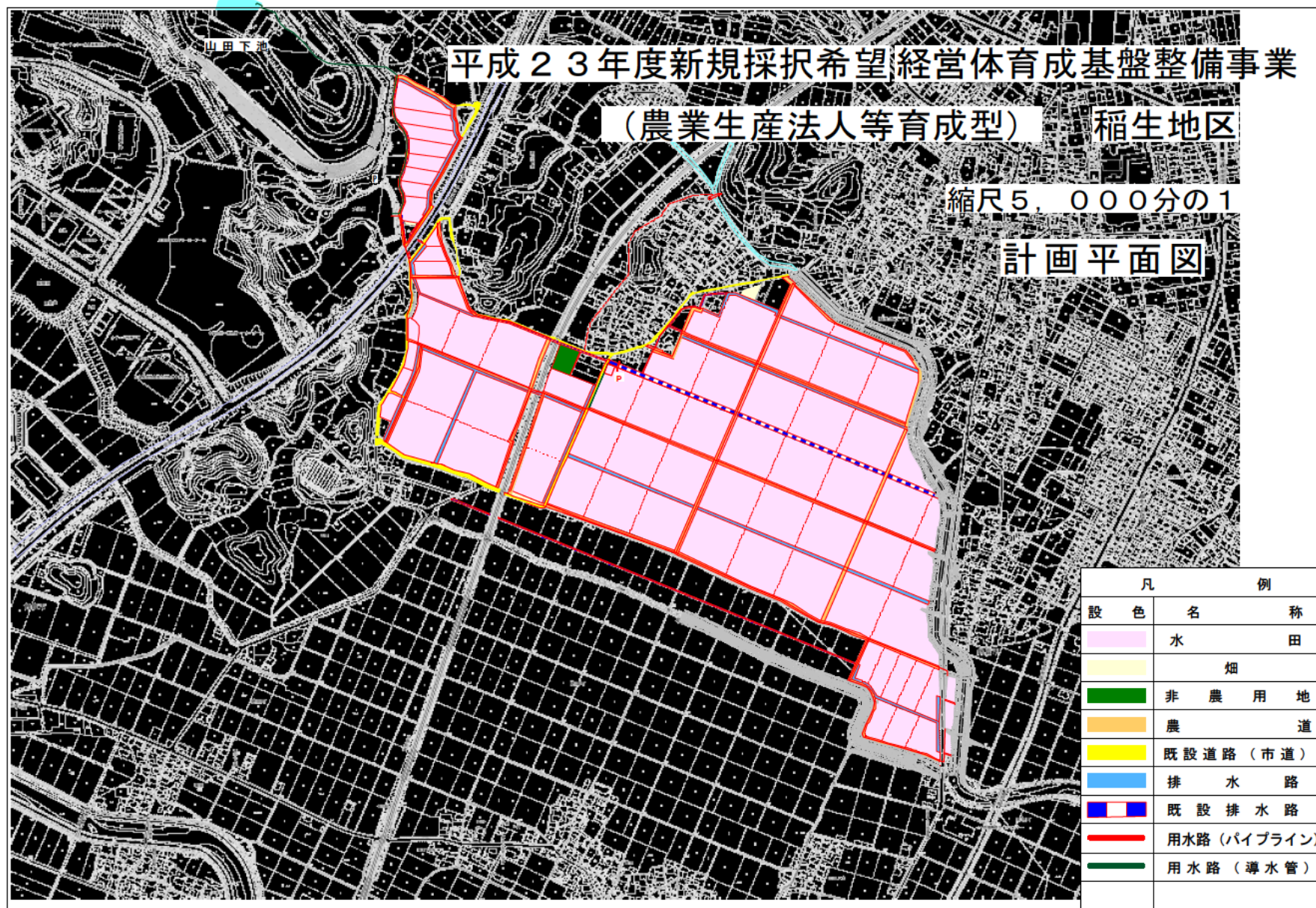
標準構造図



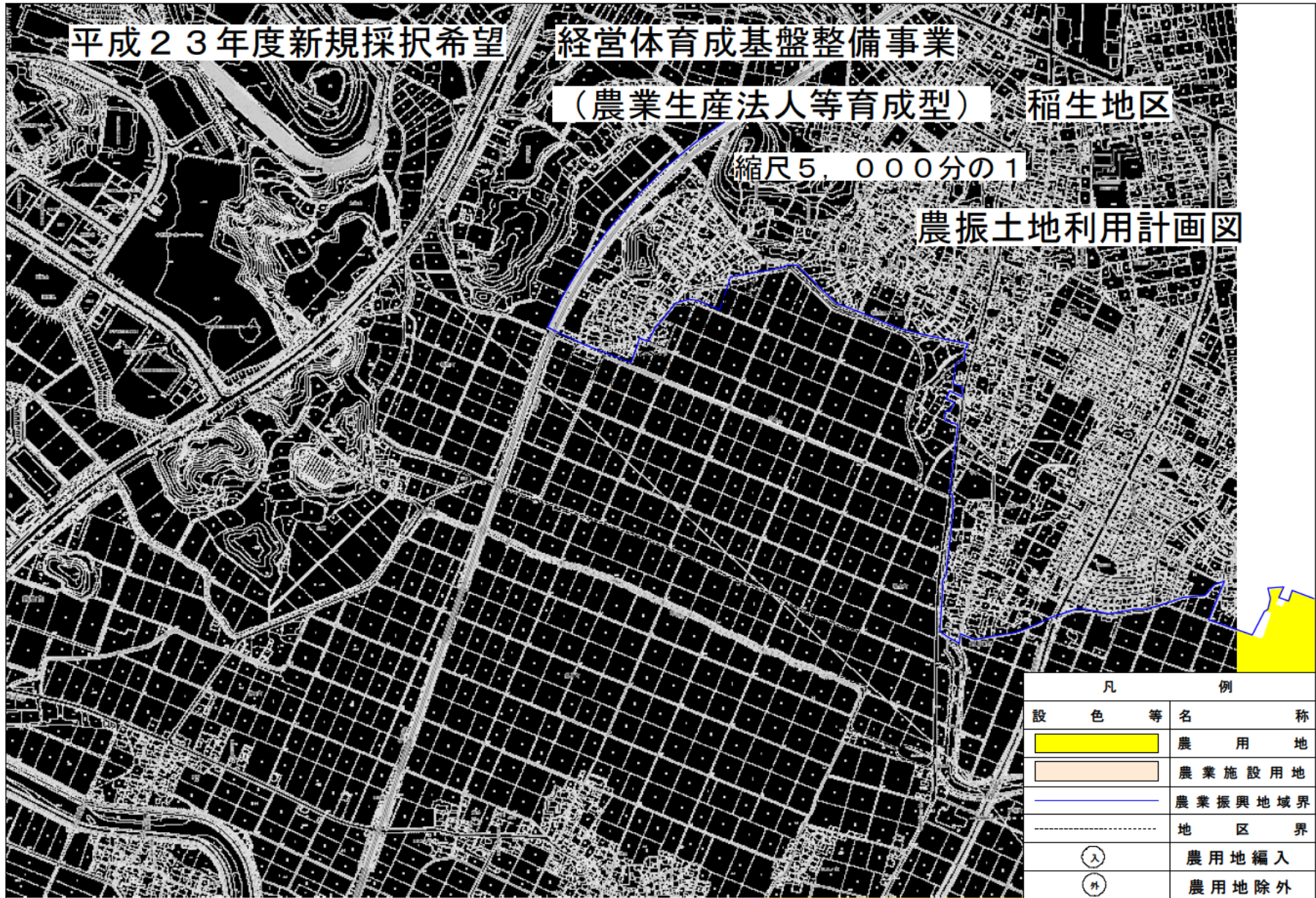
別図 2 現況計画平面図



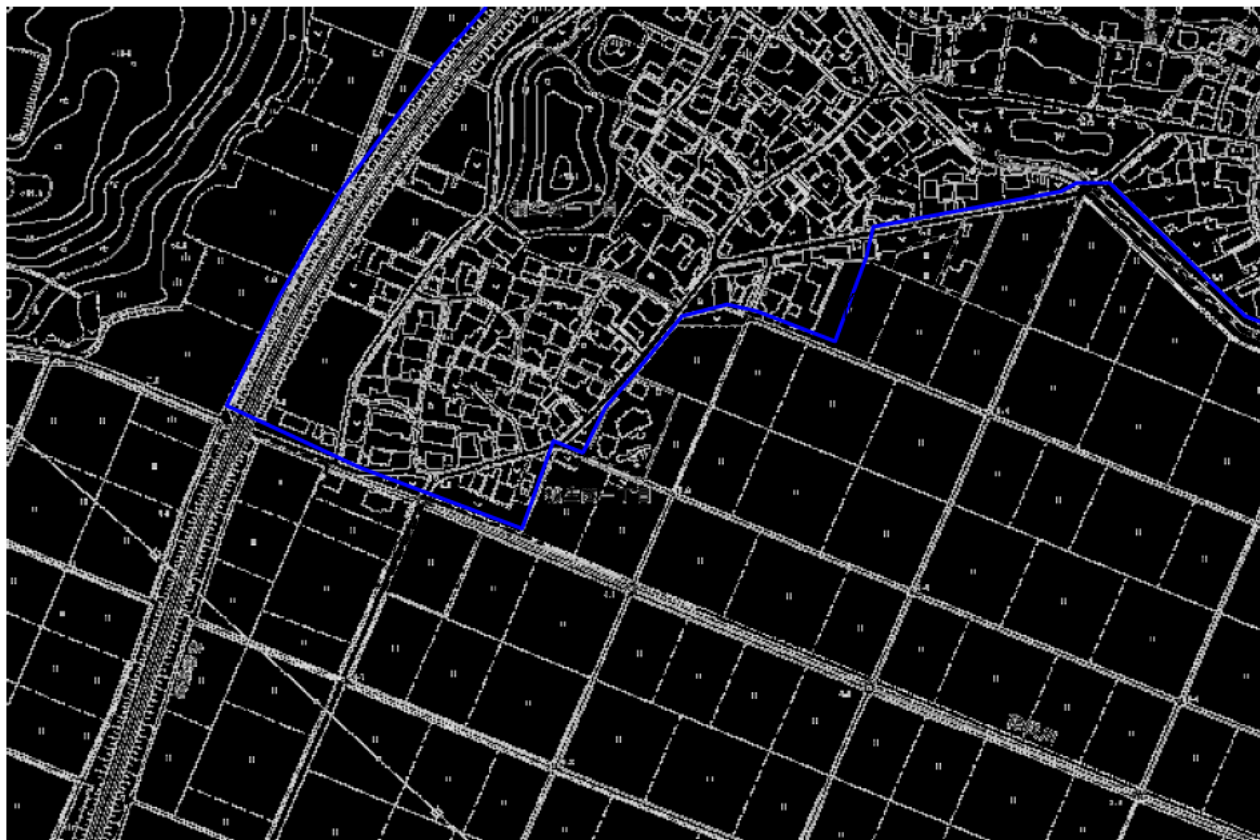
別図 3 計画平面図



別図 4 農振土地利用計画図



別図 5 農用地への編入箇所図



別図 6 土壤図



平成23年度新規採択希望 経営体育成基盤整備事業
 (農業生産法人等育成型) 稲生地区

縮尺5,000分の1

土 壤 図

土 境 区 分		計画面積 ha	土 境 断 面				現 効 土 層 深 cm	計 画 土 層 深 cm	対 策 面 積			表 土 扱 い					
土 境 統 (区) 名	番 号		土 性		グライ 層 位 cm-cm	泥 炭 層 位 cm-cm			黒 泥 層 位 cm-cm	砂 礫 層 位 cm-cm	表 扱 い ha	暗 渠 水 ha	客 土 ha	要 因 項 目	数 量 ha	位 置 cm-cm	扱 い 深 cm
			表 層	下 層													
西 黒 部 統	E42	54.1	粘 質	粘 質		なし	なし	なし	20	20	54.1	-	-		10.3	0-20	20
計		54.1									54.1	-	-				

凡 例	
設 色	名 称
	調 査 範 囲
• No	調 査 箇 所

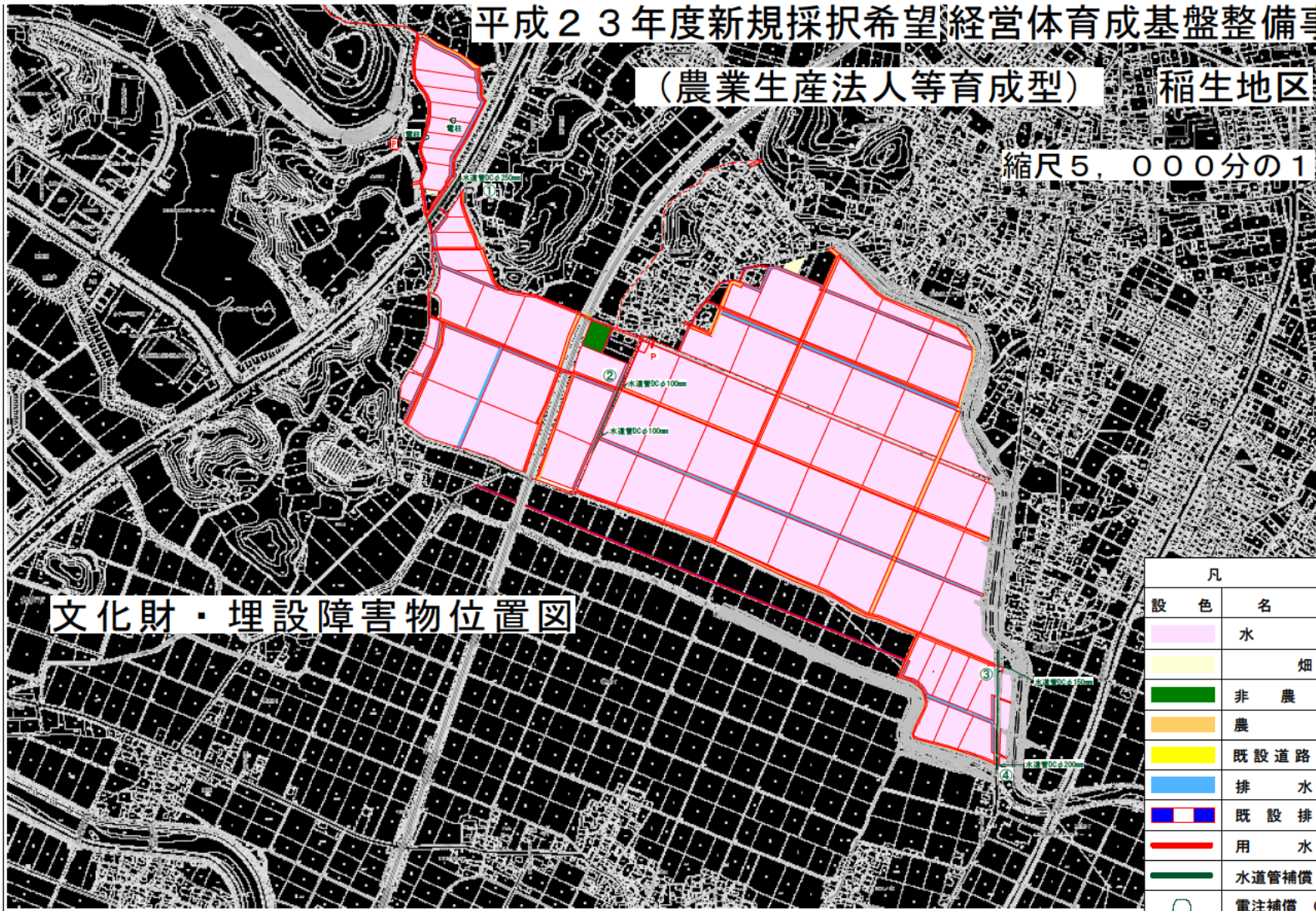
別図 7 補償費位置図



平成23年度新規採択希望(経営体育成基盤整備事業)

平成23年度新規採択希望経営体育成基盤整備事業
 (農業生産法人等育成型) 稲生地区

縮尺5,000分の1



別図 8 写真位置図



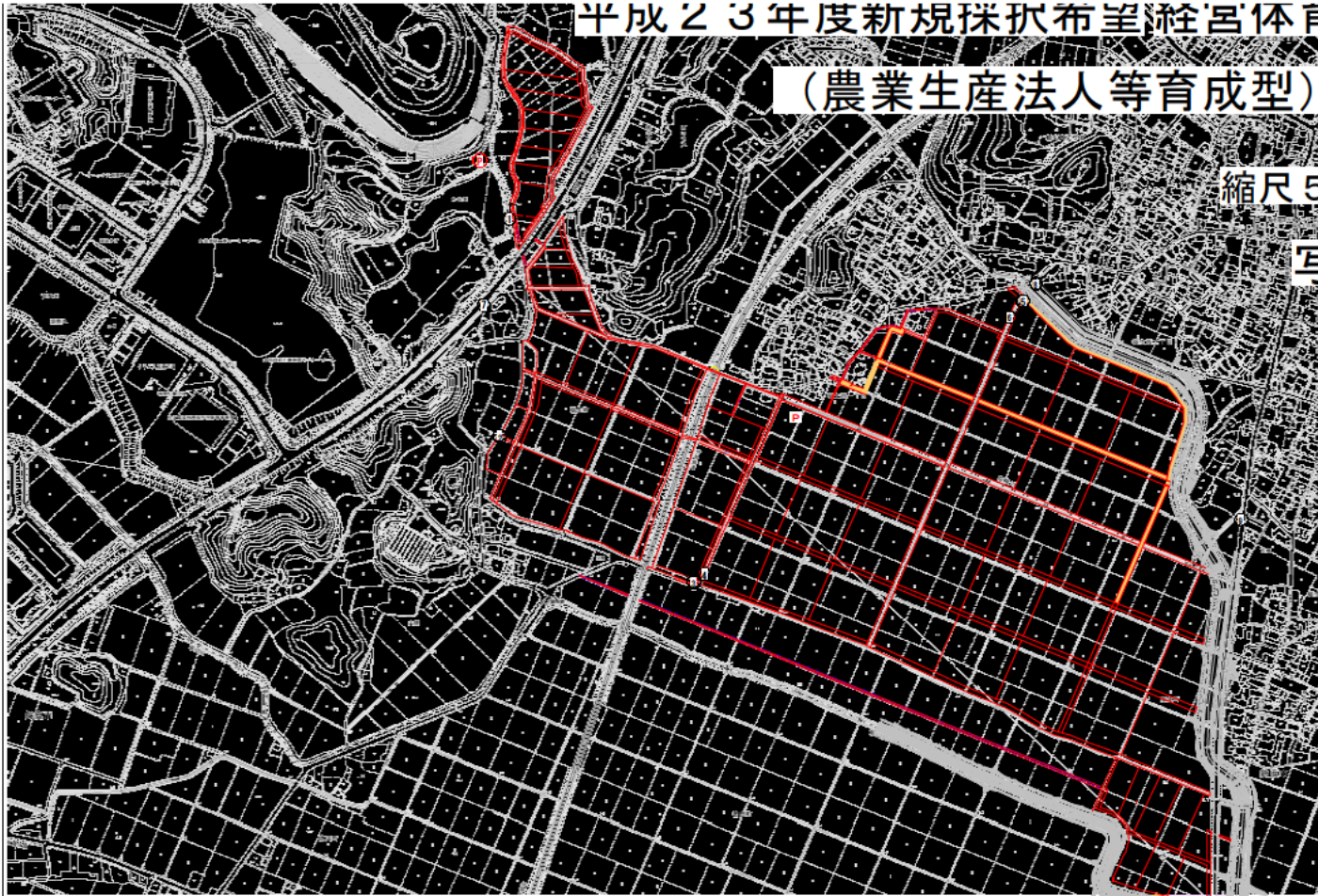
平成23年度新規採択希望経営体育成基盤整備事業








(農業生産法人等育成型)

稲生地区

縮尺5,000分の1

写真位置図



凡 例	
設 色	名 称
	水 田
	畑
	非 農 用 地
	農 道
	既 設 道 路 (市 道)
	排 水 路
	既 設 排 水 路
	用 水 路
	撮 影 位 置
	撮 影 方 向

①